

Special Resource Program for
Adolescent: SReP-A
通級プログラム青年版

大学進学準備

今日の予定

1. 大学での学び
2. レポートと論文
3. スケジュール管理
4. 情報の管理

大学での学び：高校との違い

- 高校の学習：学術的にすでに明らかなことについて、知識を得る＝「答え(正解)」がある、「答え(正解)」を教わる
- 大学での学問(研究)：まだ明らかになっていないことについて自ら問いを立てて考える＝わかっていない「答え」を自分で探す、「正解」はない、教わるのではなく考える

大学での学修

大学院での研究

さらに研究を深めたい時は

専門領域に関する研究（自分のテーマ）

興味が合えば
天国，
合わなければ
地獄

2年次以降：専門領域の科目

学部によって
は1年次から
専門科目

1年次：広く教養を身につける（教養科目）

受験：自分の興味・関心に合う大学・学部を選ぶ

レポートと論文

- レポートは, 授業の内容に関連して作成し提出するもの
- 論文は, 自分の研究について他者を説得するために記述するもの。学術論文は, 基本的な形式が決まっている。引用は明記しなければならない。
 - 形式A: 「題目」「問題(この研究の重要性, 背景)」「目的(何を明らかにしようとしているのか)」「方法」「結果」「考察」, 参考文献
 - 形式B: Title, Background, Purpose or Object, Method(Participants, Material, Procedure), Discussion, Conclusion, References

基本的なレポートの書き方

- 自分の言いたいこと（結論）を明確にする
- 根拠となる情報を集める
- アウトライン（構成）を考える（何をどの順序で述べるのが、最も説得力があるか）
 - 頭括型（最初に結論, それから理由を述べる）

結論

根拠1, 根拠2, 根拠3...

- 尾括型（様々な理由を述べて, 最後に結論）

根拠1, 根拠2, 根拠3...

結論

- 双括型（最初に結論, 理由を述べて, 最後に再度結論）

結論

根拠1, 根拠2, 根拠3...

結論

情報の集め方

大学に入学すると、図書館などが「情報の検索方法」のガイダンスを行っています。学術的に裏付けのある情報を用いることが基本です。

ネットの情報は、玉石混交。誤った情報も多い。

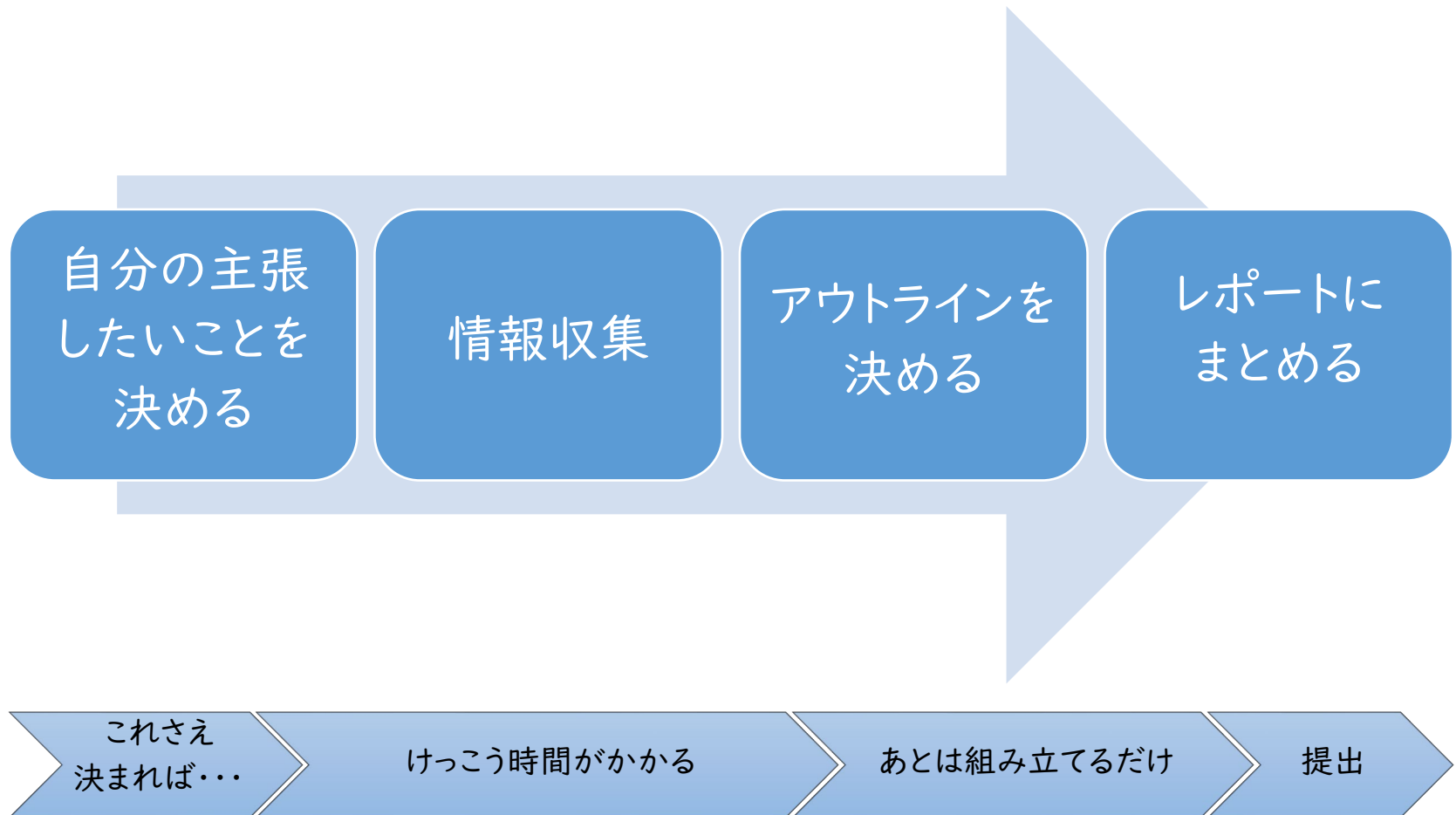
学術雑誌の論文は審査を経ている（信頼性が高い）

専門書は批判的に読むことも必要

図書館やデータベース（CiNiiなど）を活用する

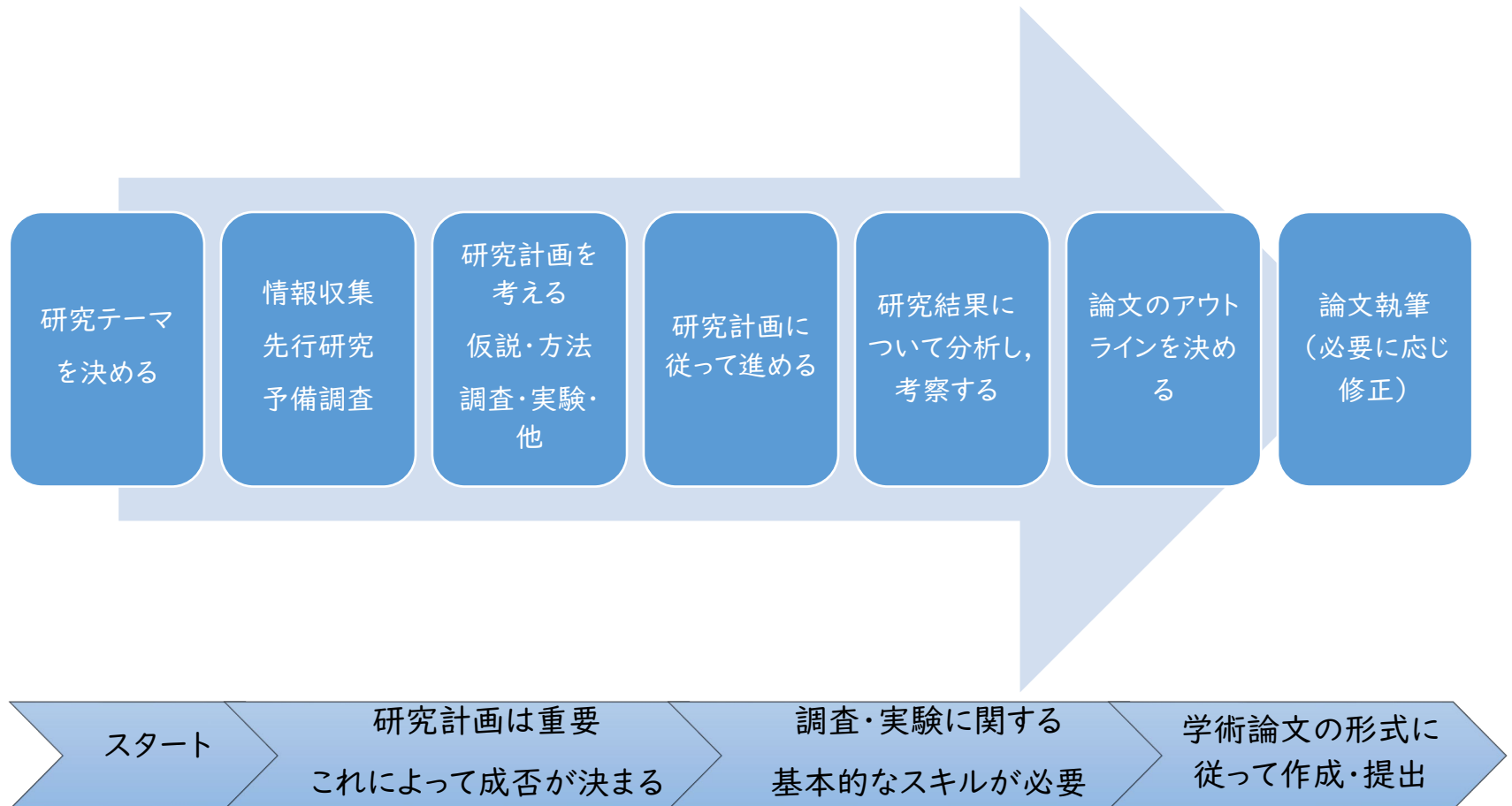
授業レポート作成のプランニング

1週間後に提出だとしたら、時間配分はどう考えたらよいだろう



論文作成のプランニング

学術論を作成する場合, 時間配分はどう考えたらよいだろう



授業レポートは定期試験,
論文執筆は入試に似ています

スケジュール管理の基本

- 大学では、個々にスケジュールが異なるので、自己管理が必要です
- 時間割（アプリ）などで、自分の週予定を管理する
- レポートの提出などメールを使うと、記録が残ります
- スケジュール管理のアプリがいろいろ出ています
 - 例：To doリスト, アプリ, カレンダー（通知機能有）, メールと連動させると、自動的にカレンダーに入力
- 手帳を使用してスケジュールを管理する
 - カレンダー式のものがおススメですが、自分が使いやすいものを選ぶとよい

情報の管理

- 個人情報の管理は気を付けよう
- パスワードの設定 他者に推測されやすいものは避ける, パスワードは他者の目に触れないように
- 自分だけでなく他者の個人情報も, SNSなどで拡散してはいけない
- SNSに写真をアップすると, 自分の位置情報など個人情報が拡散する危険がある
- 悪意のある他者からのメールに要注意: なりすまし
 - 友人, 銀行, 配送, アンケート, 「当選しました」

まとめ

- 大学での学問は,自ら問いを立てて考えることです。
- 2年次以降(学部によっては1年次から),専門の授業がほとんどになっていくので,自分の興味関心にあった大学・学部選びが重要です
- 学修のプランニングが必要
- スケジュール(週予定やTo do list)の管理が必要
- 個人情報の管理には注意しましょう